

令和7年第4回三笠市議会定例会

令和7年12月18日（3日目）

○議事次第（第3号）

- 1 開議宣告
- 2 議 事
- 3 閉会宣告

○議事日程

- 日程第1 議案第70号から議案第82号までについて（委報第6号）
- 日程第2 議案第84号 令和7年度三笠市一般会計補正予算（第5回）について
- 日程第3 議案第85号 議会運営委員会及び常任委員会所管事項調査について

○出席議員（9名）

議 長	9番	武 田 悌 一 氏	副議長	5番	折 笠 弘 忠 氏
	1番	青 木 康 博 氏		2番	池 田 真 志 氏
	3番	須 河 恵 介 氏		4番	浅 尾 三 吉 氏
	6番	畠 山 幸 氏		8番	谷 内 純 哉 氏
	10番	谷 津 邦 夫 氏			

○欠席議員（1名）

7番 澤 田 益 治 氏

○説明員

市 長	西城賢策氏	副 市 長	右 田 敏 氏
総務福祉部参事兼 危機管理室長	阿 部 文 靖 氏	総 務 課 長	萬 年 剛 至 氏
福祉事務所所長	大 村 康 彦 氏	企画財政部長	藤 井 陽 一 氏
企画財政部参事兼 企画調整課長	坂 保 徳 氏	税務財政課長	富 宅 達 也 氏
産業政策推進部長	中 原 保 氏	産業政策推進部参事	音 羽 英 明 氏
産業政策推進部参事	力 弓 晃 継 氏	建 設 部 長	松 本 裕 樹 氏
教 育 長	小 田 弘 幸 氏	教 育 次 長	柳 谷 忍 氏
病院事務局長	加 藤 慎 吾 氏	消 防 長	田 川 善 幸 氏
監 査 委 員	鈴 木 信 之 氏	監査事務局長	富 樫 将 洋 氏

○出席事務局職員

議会事務局長 砂川了一氏 議会係長 高橋広紀氏

◎議長（武田悌一氏） 開会前であります。報道機関からの撮影等について申出がありましたので、許可しております。

議場内にパソコン及びタブレット等、情報機器の持込みを許可しておりますが、スマートフォンでの操作や撮影、録音は禁止しております。

また、円滑な会議進行のため、通知音や操作音に御留意いただき、電源を切る、またはマナーモード等に設定いただくようお願いいたします。

開議 午前10時00分

◎開 議 宣 告

◎議長（武田悌一氏） ただいまの出席議員は9名であります。

7番澤田益治議員の欠席届を受理しております。

定足数に達しておりますので、ただいまから本日の会議を開きます。

◎日程第1 議案第70号から議案第82号までについて（委 報第6号）

◎議長（武田悌一氏） 日程の1 委報第6号議案第70号から議案第82号までについてを議題とします。

本件は、さきの本会議において総合常任委員会に付託したものであり、委員長より審査報告書が提出されております。

この際、委員長の報告を求めます。

畠山委員長、登壇願います。

（総合常任委員会委員長畠山幸氏 登壇）

◎総合常任委員会委員長（畠山 幸氏） さきの本会議において付託になりました議案につきまして、その審査の経過と結果について御報告いたします。

当委員会に付託された案件は、議案第70号から議案第82号までの計13件であります。

以下、御報告申し上げますが、全議員が委員となり審査を行っておりますので、審査の詳細及び質疑答弁の内容につきましては省略をさせていただき、審査の結果についてのみを御報告させていただきます。

それでは、報告いたします。

議案第70号の条例制定1件、議案第71号から議案第74号までの条例改正4件、議案第75号の協議1件、議案第76号の指定1件、議案第77号から議案第82号までの補正予算6件の計13件については、審査の結果、原案可決すべきものと決定いたしました。

以上で、本委員会に付託されました議案の審査の経過と結果についての御報告とさせていただきますので、よろしく御審議くださいますようお願いいたします。

◎議長（武田悌一氏） これより、委員長報告に対する質疑に入ります。

一括して質疑を受けます。質疑のある方は御発言願います。

（「なし」の声あり）

◎議長（武田悌一氏） 質疑ないようですから、質疑を終了します。

これより、討論、採決に入ります。

初めに、議案第70号について討論を行います。

（「なし」の声あり）

◎議長（武田悌一氏） 討論ないようですから、討論を終了します。

続いて、採決を行います。

議案第7号について、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

◎議長（武田悌一氏） 御異議なしと認めます。

議案第70号三笠市乳児等通園支援事業の設備及び運営基準条例の制定については、原案のとおり可決することに決定しました。

次に、議案第71号について討論を行います。

（「なし」の声あり）

◎議長（武田悌一氏） 討論ないようですから、討論を終了します。

続いて、採決を行います。

議案第71号について、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

◎議長（武田悌一氏） 御異議なしと認めます。

議案第71号三笠市職員定年等条例の一部を改正する条例の制定については、原案のとおり可決することに決定しました。

次に、議案第72号について討論を行います。

（「なし」の声あり）

◎議長（武田悌一氏） 討論ないようですから、討論を終了します。

続いて、採決を行います。

議案第72号について、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

◎議長（武田悌一氏） 御異議なしと認めます。

議案第72号三笠市火災予防条例の一部を改正する条例の制定については、原案のとおり可決することに決定しました。

次に、議案第73号について討論を行います。

（「なし」の声あり）

◎議長（武田悌一氏） 討論ないようですから、討論を終了します。

続いて、採決を行います。

議案第73号について、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

◎議長（武田悌一氏） 御異議なしと認めます。

議案第73号三笠市工業団地貸付条例の一部を改正する条例の制定については、原案のとおり可決することに決定しました。

次に、議案第74号について討論を行います。

（「なし」の声あり）

◎議長（武田悌一氏） 討論ないようですから、討論を終了します。

続いて、採決を行います。

議案第74号について、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

◎議長（武田悌一氏） 御異議なしと認めます。

議案第74号三笠市水道給水条例の一部を改正する条例の制定については、原案のとおり可決することに決定しました。

次に、議案第75号について討論を行います。

（「なし」の声あり）

◎議長（武田悌一氏） 討論ないようですから、討論を終了します。

続いて、採決を行います。

議案第75号について、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

◎議長（武田悌一氏） 御異議なしと認めます。

議案第75号北海道市町村職員退職手当組合規約の変更に関する協議については、原案のとおり可決することに決定しました。

次に、議案第76号について討論を行います。

（「なし」の声あり）

◎議長（武田悌一氏） 討論ないようですから、討論を終了します。

続いて、採決を行います。

議案第76号について、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

◎議長（武田悌一氏） 御異議なしと認めます。

議案第76号指定管理者の指定については、原案のとおり可決することに決定しました。

次に、議案第77号について討論を行います。

（「なし」の声あり）

◎議長（武田悌一氏） 討論ないようですから、討論を終了します。

続いて、採決を行います。

議案第77号について、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

◎議長（武田悌一氏） 御異議なしと認めます。

議案第77号令和7年度三笠市一般会計補正予算（第4回）については、原案のとおり可決することに決定しました。

次に、議案第78号について討論を行います。

（「なし」の声あり）

◎議長（武田悌一氏） 討論ないようですから、討論を終了します。

続いて、採決を行います。

議案第78号について、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

◎議長（武田悌一氏） 御異議なしと認めます。

議案第78号令和7年度三笠市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2回）については、原案のとおり可決することに決定しました。

次に、議案第79号について討論を行います。

（「なし」の声あり）

◎議長（武田悌一氏） 討論ないようですから、討論を終了します。

続いて、採決を行います。

議案第79号について、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

◎議長（武田悌一氏） 御異議なしと認めます。

議案第79号令和7年度三笠市国民健康保険特別会計補正予算（第3回）については、原案のとおり可決することに決定しました。

次に、議案第80号について討論を行います。

（「なし」の声あり）

◎議長（武田悌一氏） 討論ないようですから、討論を終了します。

続いて、採決を行います。

議案第80号について、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

◎議長（武田悌一氏） 御異議なしと認めます。

議案第80号令和7年度三笠市介護保険特別会計補正予算（第3回）については、原案のとおり可決することに決定しました。

次に、議案第81号について討論を行います。

（「なし」の声あり）

◎議長（武田悌一氏） 討論ないようですから、討論を終了します。

続いて、採決を行います。

議案第81号について、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

◎議長（武田悌一氏） 御異議なしと認めます。

議案第81号令和7年度三笠市水道事業会計補正予算（第3回）については、原案のとおり可決することに決定しました。

最後に、議案第82号について討論を行います。

（「なし」の声あり）

◎議長（武田悌一氏） 討論ないようですから、討論を終了します。

続いて、採決を行います。

議案第82号について、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

◎議長（武田悌一氏） 御異議なしと認めます。

議案第82号令和7年度三笠市下水道事業会計補正予算（第2回）については、原案のとおり可決することに決定しました。

◎日程第2 議案第84号 令和7年度三笠市一般会計補正予算（第5回）について

◎議長（武田悌一氏） 日程の2 議案第84号令和7年度三笠市一般会計補正予算（第5回）についてを議題とします。

市長から提案理由の説明を求めます。

市長、登壇願います。市長。

（市長西城賢策氏 登壇）

◎市長（西城賢策氏） 議案第84号令和7年度三笠市一般会計補正予算（第5回）について、提案説明を申し上げます。

今回の補正は、既定予算額144億7,673万1,000円に1,690万4,000円を追加し、予算の総額を144億9,363万5,000円とするものであります。

まず、歳出であります。物価高対応子育て応援手当支給事業の追加により、必要な経費を措置するものであります。

一方、歳入については、特定財源として、物価高対応子育て応援手当支給事業費補助金及び事務費補助金を計上するものであります。

以上、提案説明といたしますので、御審議くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

◎議長（武田悌一氏） これより、質疑を受けます。

質疑のある方、御発言願います。

(「なし」の声あり)

◎議長(武田悌一氏) 質疑ないようですから、質疑を終了します。

お諮りします。

議案第84号については、委員会付託を省略し、即決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

◎議長(武田悌一氏) 御異議なしと認め、委員会付託を省略することに決定しました。

これより、討論を行います。

(「なし」の声あり)

◎議長(武田悌一氏) 討論ないようですから、討論を終了します。

お諮りします。

議案第84号については、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

◎議長(武田悌一氏) 御異議なしと認めます。

議案第84号令和7年度三笠市一般会計補正予算(第5回)については、原案のとおり可決されました。

**◎日程第3 議案第85号 議会運営委員会及び常任委員会所
管事項調査について**

◎議長(武田悌一氏) 日程の3 議案第85号議会運営委員会及び常任委員会所管事項調査についてを議題とします。

本案については、議会運営委員会副委員長及び常任委員長の共同提案に係るものであり、文書記載のとおりでありますので、提案説明、質疑及び討論を省略したいと思います。御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

◎議長(武田悌一氏) 御異議なしと認めます。

本案については、提案説明、質疑及び討論を省略することに決定しました。

続いて、採決を行います。

議案第85号について、原案可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

◎議長(武田悌一氏) 御異議なしと認めます。

議案第85号議会運営委員会及び常任委員会所管事項調査については、原案のとおり可決されました。

以上で、今定例会に付議された事件は、全て終了しました。

◎市長挨拶

◎議長（武田悌一氏） この際、市長から発言の申出がありますので、許可します。
市長、登壇願います。

（市長西城賢策氏 登壇）

◎市長（西城賢策氏） 令和7年第4回の定例会終了に当たりまして、一言御挨拶を申し上げたいと思います。

皆様には、大変御苦勞をいただきながら、第4回の定例会につきましても進めてまいることができました。

また、今年1年、大変なお手数を議会の皆さんにはおかけしたと思っております。本当にありがとうございました。

顧みますと、この1年は、物価高騰、熊との戦いに終始した1年であったのではないかなというふうに思っております。国は、次々と物価対策を打ち出しておりますし、熊は冬眠の時期に入りましたので、安心領域かなというふうに思っておりますが、高市政権の動きによってはどのように動くか先が読めない状態、注視していかなければならない状態なのだろうというふうに思っています。

また、北海道では原発再稼働の判断が知事から出まして、これも道民に不安が残らないように、ぜひぜひきちっとした対応をしていただければというふうに思っておりますし、北海道が周辺市町村の判断を待って考え方を出すというのは、どうだったのだろうなというふうに私は疑問を感じているところでもあります。

さて、我が三笠市においては、まずHBCドラマのことがありまして、非常に盆おどりは驚くほど人がたくさんいらしてくださったと。例年ですと1万数千という数が3万を超えたということでありましたので、大変うれしく思っております。

また、地下ガス化の問題の問題につきましても、混焼実験に入って一定の成果が出されたということで、道内外からたくさんの方の企業、大学関係者、それから私どものまちからは市民も御覧をいただいたということでありました。これは、本当にうれしく思っているところでもあります。課題はまだ山積していると思っておりますけれども、大きな一歩を踏み出せたのではないかとこのように思っているところでもあります。

10月末にはジオパークの再認定審査が行われまして、委員長自らによる直接審査ということでありましたけれども、むしろ委員長先生は、私の感じからいうと、私どものまちのジオパークを、ぜひ世界認定をしてもらえるように出さなさいという促しだったのかなというふうに、今は思っております。まだ今年の審査の結果は来ておりませんが、私としては過日申し上げましたように、それに向かって努力をしてまいりたいというふうに思っているところでもあります。

今のところ、どのテーマも順調に見えていますけれども、いつ想定外の事象が生じるかわかりません。それは、大変心配なことでもあります。トランプさんの出現も、まさにそ

の一つなのだろうというふうに思っております。大きなトライでありますし、まだまだ課題が発生するというふうに考えておりますけれども、力をお貸しいただければ大変ありがたいと思っております。

私としては、ここまで進めてこられているのは、議員各位、また、市民のお力添えのおかげだというふうに思っております。心から感謝を申し上げる次第であります。なお全力で成し遂げるべく努力してまいりますので、どうぞどうぞよろしくお願いを申し上げます。

季節は移り、積雪の時期を迎えております。議員各位におかれましては、どうぞ御自愛の上、お健やかな新年を迎えられますことを祈念申し上げまして、本年1年の御礼とさせていただきます。ありがとうございました。

◎議 長 挨 拶

◎議長（武田悌一氏） 市長に続きまして、私からも一言御挨拶させていただきたいと思っております。

まずは、今定例会に提出された議案につきまして、慎重かつ活発な審議が行われ、結論を得ることができましたことにつきまして、感謝申し上げたいと思っております。また、市長をはじめ理事者の皆様、そして議員の皆様方の御理解と御協力により、本日無事12月の定例会の最終日を迎えられたことにつきまして、お礼申し上げたいと思っておりますとともに、私たち議員に対し、日頃よりサポートをいただいている議会事務局職員の皆様に感謝申し上げます。1年間、本当にありがとうございました。

今年に関しましては、議会事務局職員において、出産のために産休に入るなど大変うれしい出来事もありましたが、その分、ただでさえ人手不足の中、定例議会のたびに応援に駆けつけていただき、御協力いただいている職員の皆様方につきましても、併せて感謝申し上げます。

さて、依然として米価格の高騰をはじめとする物価の上昇は、市民の日常生活に大きな影響を与えているということは言うまでもなく、地域経済にも様々な変化が起きておりますそのような中、国においては10月に高市内閣が発足し、強い経済を実現するとして、重点支援地方交付金の交付や電気、ガス料金の負担軽減支援が行うとされており、昨日、臨時国会が閉会したばかりであります。

今定例会においては、2名の議員より、物価高騰対策についての通告が出され、重点支援交付金についての質問がありましたが、できるだけ速やかに、また、市民に対し、家計の負担軽減につながる事業を進めていきたいという執行部と議会との合意により、本日、物価高対応子育て応援手当が提案され、即決にて可決されたことにつきましては、大変時間のない中において御尽力いただいた担当職員の方々及び関係者各位に対し、議長として深くお礼申し上げたいと思っております。

新型コロナウイルス感染症が騒がれた令和2年2月以降、三笠市においては感染症対応地方創生臨時交付金事業をはじめ、多くの事業について、他市よりも早くに対応してきたと思ってきております。これからにつきましては、行政と議会が共にそれぞれの立場において責任を果たしながら、住民福祉の向上と持続可能なまちづくりのために進んでいるからだと思っております。そして、何よりも人口が7,000人程度のまちだからこそ、早急な対応ができていると思うのであります。今後とも引き続き、行政と議会、協力と緊張感を持ちながら、諸課題の解決に取り組んでいきたいと考えておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

また、市議会における今年の新たな取組として、7月5日には中央公園で開催された「みかさ寄ットクマルシェ」の開催に合わせ、議員カフェを議員一同で出店し、来場された市民の方々より貴重な意見や要望を聞くことができましたし、さらに8月4日には、議員と高校生との座談会も開会することができました。今後につきましても、少しずつかもしれませんが、市民に分かりやすく、より開かれた議会を目指し、進んでいきたいと考えております。

来年度からは、いよいよ新病院の建設や石炭地下ガス化の実証実験も始まりますし、私も議員としての任期も残り1年4か月という時期になってきますので、今後の議員定数についても議論していかなければならないなど、まだまだやらなくてはならないことが多くあるように感じております。

結びになりますが、新年が三笠市民にとって希望と期待が持てる1年になるよう祈念するとともに、議員の皆さんと並びに市長をはじめ理事者の皆様におかれましては、健康に十分御留意され、今後とも地域発展のため、なお一層の御尽力を賜りますようお願い申し上げます。御挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。

◎閉 会 宣 告

◎議長（武田悌一氏） 以上をもちまして、令和7年第4回三笠市議会定例会を閉会します。

御苦労さまでした。

閉会 午前10時24分

地方自治法第 1 2 3 条第 2 項の規定により署名する。

令和 年 月 日

議 長

署名議員

署名議員